

平成30年4月3日

一般社団法人 大阪金属プレス工業会
会員 各位

大阪能率協会 常任理事
見学研修部 部長
経営革新研究所 代表
菊本 辰道

4月度「見学研修会～ダイフク～」のご案内

毎々格別のご高配をいただき、有り難うございます。
変化の時代を乗り切るためには、「現場・現物・現実」からの発想が必要であります。さらに、企業が当面している重点課題の取組み状況について、幹部からお話を聞くことにより、当該企業の「コアコンピタンス」（企業固有の強み）を理解することができます。

つきましては、貴社から参加者をご派遣いただきたく、よろしくお願い致します。

記

1. 日時 4月24日（火） 13:50～16:00

2. スケジュール

13:50～14:50 「日に新た館」見学
14:50～15:30 「ダイフクの“マテリアルハンドリング”への取組み」
株式会社 ダイフク 「日に新た館」
前館長 森本 薫氏
15:30～16:00 質疑応答

3. 見学先 (株)ダイフク 「日に新た館」
～世界最大規模のマテハン・ロジスティクス総合展示場～

(建物面積：6,049㎡ 延床面積：19,482㎡)

〒529-1692 滋賀県蒲生郡日野町中在寺1225 TEL 0748-53-3970

(株)ダイフク

マテハン分野で世界ナンバーワン！

もっと先の可能性へ。もっと広い世界へ。もっと大きい満足のために。

「Material Handling and Beyond」

“モノを動かす”ことを通じて、人々に感動や喜びをもたらしたい。
そして、もっと快適で夢のある社会の発展に貢献したい。ダイフクはマテリアルハンドリング（マテハン）をコア事業とするゆるぎない企業姿勢と将来に向けての事業のさらなる可能性とそこから広がるさまざまな世界をより堅固に支える幅広い企業活動を決意し、2007年5月、創立70周年を機に、上記のコーポレートスローガンを決めました。
マテハンにこだわり、マテハンを革新していく——ダイフクはこれからも挑戦し続けます。

社会のあらゆる所で、「マテハン」の技術がお役に立っています

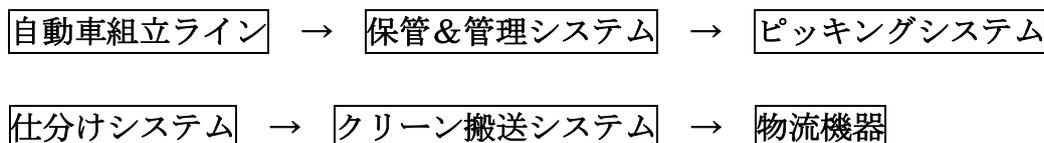
ダイフクはメーカーであると同時に「システムインテグレーター」として、モノの流れ全体の最適化を提案・構築しています。さまざまな製品の生産の工程で、あるいは流通の過程で、作業の効率化や簡易化を進め、コストダウンや短納期化に貢献しているのがマテハンの技術です。

ダイフクは自動車や電機・電子、医薬品、食品、衣料品、日用品などあらゆる製造業や運輸・倉庫、流通業などの幅広い産業市場に各種マテハンシステムを提供し、効率的で人にやさしい物流システムを構築し、くらしやビジネスのさまざまな場面でサポートしています。

現在、世界20ヶ国に拠点を設け、グローバルに事業を展開しています。世界中どこでも同一レベルの高品質な製品を供給していくために、モノづくりの技術伝承と現地スタッフの人材育成に積極的に取り組んでいます。

- ・生産、流通向けシステム
- ・自動車生産ライン向けシステム
- ・ライフスタイルプロダクツ（洗車機、医療・福祉・環境関連・ボウリング）
- ・液晶、半導体生産ライン向けシステム
- ・空港向け手荷物搬送システム

<見学内容> (別紙「日に新た館」ご参照)



・自動車組立ライン

自動車組立システムの実物ラインによるデモンストレーションを行っています。

・保管&管理システム

工場や卸・小売業の配送センター、冷凍倉庫などで幅広く使われている自動倉庫や工場向けケース格納、流通向けダンボール格納などを展示しています。

・ピッキングシステム

情報システムと連動したトータルピッキングシステムの実演を行います。

・仕分けシステム

小包などピース単位の仕分けからダンボールなどケース単位の仕分けまで各種ソーターをとりそろえています。

・クリーン搬送システム

軌道式天井走行台車、仕掛品一時ストレージで、300mmウェハなど半導体工場向け自動搬送・保管システムを構成しています。

・物流機器

パレット、ケース、ピース単位とハンドリングする品物のサイズに応じて、ラック、パレットカート系のさまざまな物流機器をそろえています。

4. 講演会

「ダイフクの“マテリアルハンドリング”への取組み」

株式会社 ダイフク「日に新た館」

前館長 森本 薫夫 氏

<主な内容>

- ・マテリアルハンドリングとは
- ・マテリアルハンドリングの市場について
- ・現在求められるマテハンとは

5. 対 象 会社及び演題に関心のある方 (職種・役職・年齢に関係ありません)

6. 参 加 費 2,000円 (消費税込み)
☆ 「見学研修会」当日、いただきます。(領収書発行)

7. お申し込み 4月16日(月)までにEメールにて別紙「ダイフク見学研修会」申込書を経営革新研究所(菊本)へご連絡願います。

<申込先> 経営革新研究所 代表 菊本 辰道
住 所 大阪府枚方市長尾台3-1-14
TEL&FAX 072-859-5066
携帯電話 090-5040-0719
E-mail : kikumoto-t@m01.fitcall.net

経営革新研究所 菊本行 (E-mail : kikumoto-t@m01.fitcall.net)

4月度「ダイフク見学研修会」申込書

貴社名：
住所：
所属部署：
責任者御氏名：
担当者御氏名：
E-mail：

氏名	所属部署	役職